

オルタナティブの模索

——問い直す国際政治学——

日本国際政治学会編

序文	オルタナティブの模索		
	日本の「架け橋外交」戦略の戦前と戦後……………	武田	知己
	アフリカ研究者の紛争研究……………	内進	一
	国際関係理論はどこまで普遍性を有するのか……………	堀内	めぐみ
	戦後日本の現実主義を再考する……………	張	帆
	ドイツ統一交渉と冷戦後欧州安全保障秩序の端緒……………	板橋	拓己
	日ソ国交回復交渉の再検討……………	岡田	美保
	日本の国際関係研究における		
	「固有の課題」と「共有の方法」……………	芝崎	厚士
	〈複雑適応系〉国際政治学の可能性……………	光辻	克馬
		山影	進
	国際政治における国際裁判所……………	内記	香子
	環境と資源問題をめぐる国際政治と日本……………	太田	宏
	〈書評〉		
	井関正久著		
	『戦後ドイツの抗議運動』……………	五野井	郁夫
	三須拓也著		
	『コンゴ動乱と国際連合の危機』……………	篠田	英朗

国際政治

200